

退魔師 光月花蓮は  
薙刀の名家である「光月家」の  
頭首「光月宗次郎」の一人娘である

ここまでのような  
性獣……

ぐっ……あたしが  
ここまで  
追い詰められるとは

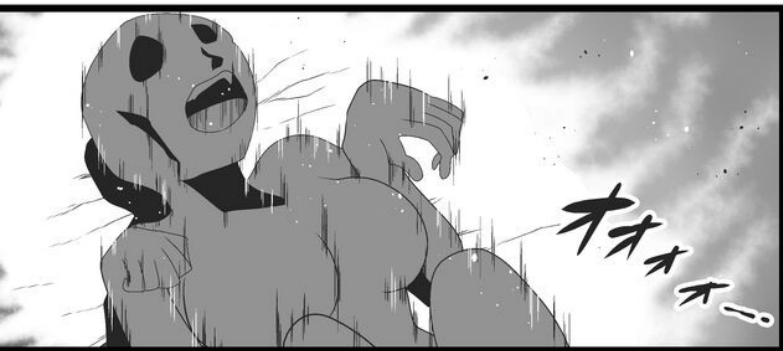
彼女の扱う薙刀は  
特殊な霊力が込められており  
そこから繰り出される一撃は  
強烈な力を秘めていた

これまで  
どれだけの男と性を  
貪ってきたか……  
貴様の罪は万死に値する

どこまでも下品だな  
もう話している時間が  
惜しい……終わりに  
するぞ

おのれ……  
シヨンベンガキの分際でよくも  
その服をひん剥いて処女臭いマンコに  
あたしのガチガチチンポを  
ぶち込んでやろうと思ったのに

うるせー！マンコ見せろ  
メスガキー！！



えっやだあ♥  
すっごく可愛い娘  
あたしのタイプだわあ  
さすが小豆姉様♥

でしょ♥  
あんな強くて可愛い娘が  
エロくて不気味な性獣になると思うと  
ゾクゾクするでしょ♥

どうやって  
あたし達と一緒に  
するの？

大丈夫よ♥  
もう手は打ってあるわ

綾乃…沙織…雫…  
一体何処へ行ってしまった…

一週間前  
京の陰陽道  
“退魔師連盟”

なっ：神楽三姉妹が  
行方不明：

うむ：奴等に任せていた土地には  
性獣の様な弱い妖しかおらん：  
あの娘達が性獣等にやられるとは  
思えんのだが：

うくむ：何かよからぬ事が  
起きておらねば良いが

私が行きます！

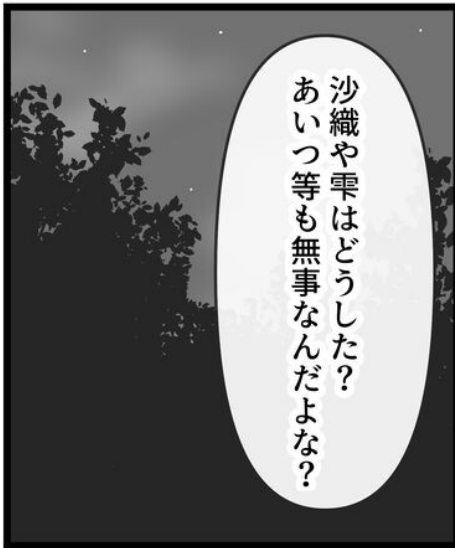
私が行って必ず  
三人を見つけて来ます！

そうか：行ってくれるか  
くれぐれも無理はするなよ

この辺りは性獣しか出ない  
あんな下等な妖にあいつ等が  
負けるはずがない：  
ましてや綾乃がいるんだ

綾乃：会いたい…





沙織や隼はどうした？  
あいつ等も無事なんだよな？



もっ  
心配ないわよ  
私はちゃんと無事よ



綾乃！お前が行方不明に  
なっちゃって聞いて  
めっちゃくちゃ心配したんだぞ！



それが…

……



……

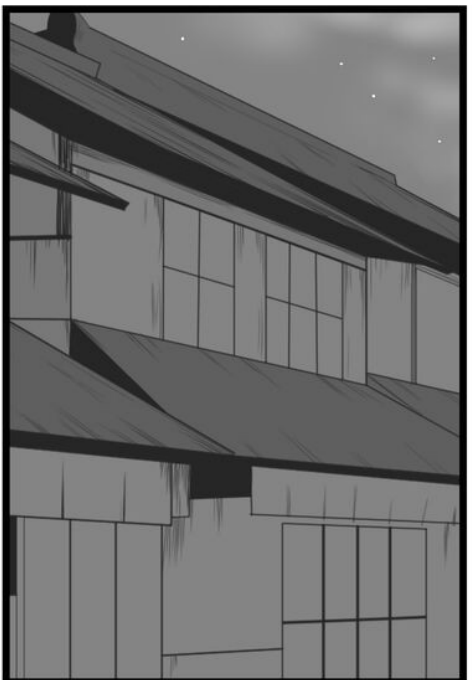


何処を探しても  
見当たらないの…  
でも性獣にやられたとも  
思えないし…

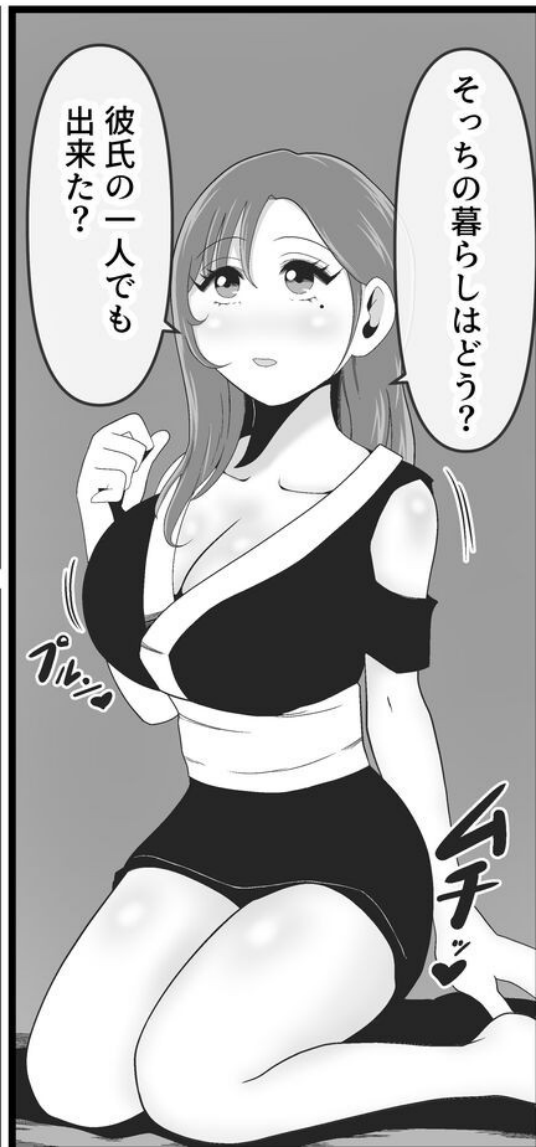


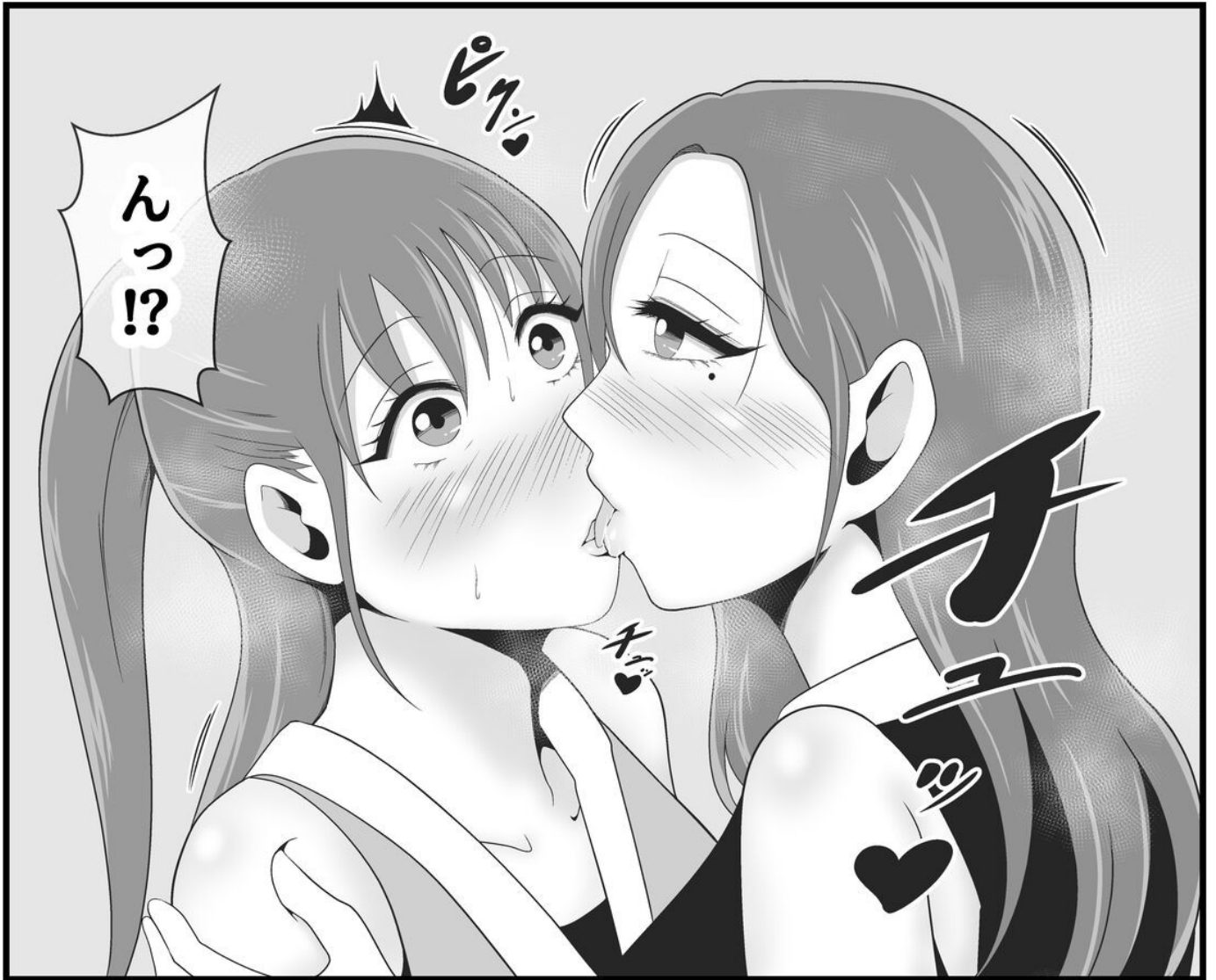
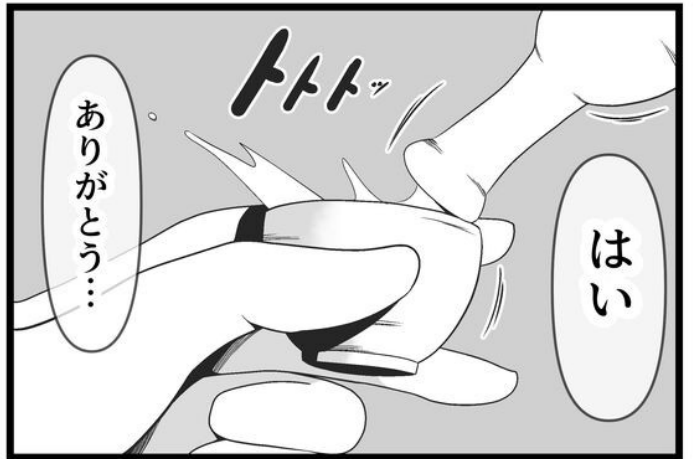
ええ…

そうか…あいつ等は  
本当に行方不明なのか…



綾乃…  
私も協力する  
二人で搜索を続けよう





綾乃? 一体  
どうゆうつもりだ

何が…いや  
それより…意識が  
遠く…



ふふふ…  
油断したわね花蓮



これで人としての  
光月花蓮はお終いよ…

……

あれ…私…何してたんだっけ…

ほお、良い良い  
これは実に良いぞ…  
乳房こそ貧相じゃが  
透き通る様な白い肌  
引き締まった身体よのお

頭が痛い…  
ダメだ…うまく  
思い出せない…

もぉ、お館様  
おっぱい何てあたし達の仲間になれば  
大きくなるだから関係ないわ♥  
それよりこの綺麗な肌  
とってもステキ♥舐め回したいわ♥

うああっ!!  
なっ…妖!!

これは!?!  
私は…何故!?!



くくく  
身動きがとれまい



うっ…身体が  
動かない…

くそっ…妖術か…



見たところ性獣…  
だが…何だこいつは

何だこいつの…



ようこそ♥  
歓迎するわ花蓮ちゃん



妖力は!!

底すらない…





すつごくエッチで強い  
性獣になってもらいたいの♡



いやああああ!!

ふんっ!

もしそんな事が  
可能だとゆうならば…  
もう既に何人かの退魔師は  
こいつ等の餌食になっている  
可能性も…



はっ?…なるって…  
どういう事だ…そんな…

人を性獣に…妖に  
変えるとゆう事か?  
そんなバカな話  
聞いた事がない…

くそっ…身体よ動いてくれ…  
このままじゃまずい…

グイ  
おおこれは何ともすべすべの肌じゃ  
素晴らしい触り心地よ…

うう…やめろ…  
私に触るなあ…

サス♡  
サス♡  
それにこのおっさんの臭い  
臭くて甘酸っぱい臭い…  
ツンとした刺激臭のせいで  
クラクラして頭が回らない…

ちんぽは…

いっだ!

ほお、完全に乾いておるか…  
濃等の体臭には媚薬効果が  
あり嗅いでいるだけで  
普通の女子なら薄っすら  
発情するのだが

なるほど…

これはなかなか手強いのお  
おそらくこの娘は元々極端に  
性に関心がない…それに加え  
濃等に対する嫌悪感…  
ここまで性に鈍感だと  
受妖が成立しない可能性がある

もし仮に成功しても…  
その後覚醒するまでに  
時間がかかりすぎてしまい  
孵化する前に  
廃人になるおそれがある



“生穴八手絡み”



よし…ならば  
あの手でゆくぞ



貴様にはそいつに寄生してもらい  
徐々に一体化してもらおう…  
そして一体化したその後には  
受妖してもらい…最期に僕の  
“性汁”によって孵化するとゆう流れだ

やっ…やめろ…  
来るな…化物…

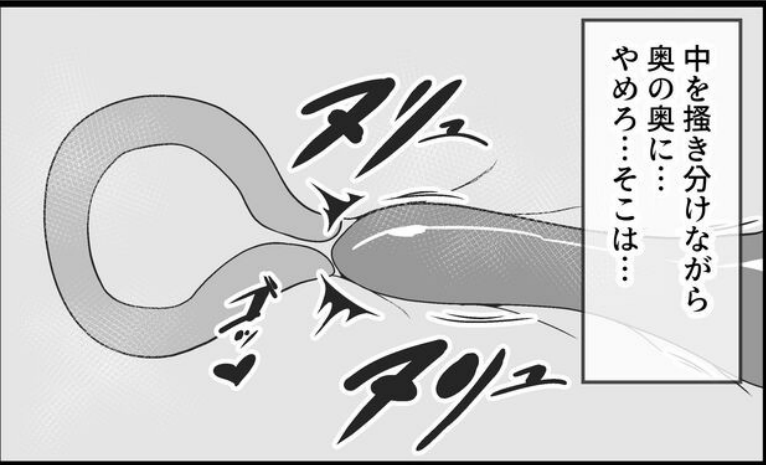


ぐえっ…おっ…





うぐうあっ…  
私の中にヌメヌメとした  
異物が入ってくる…

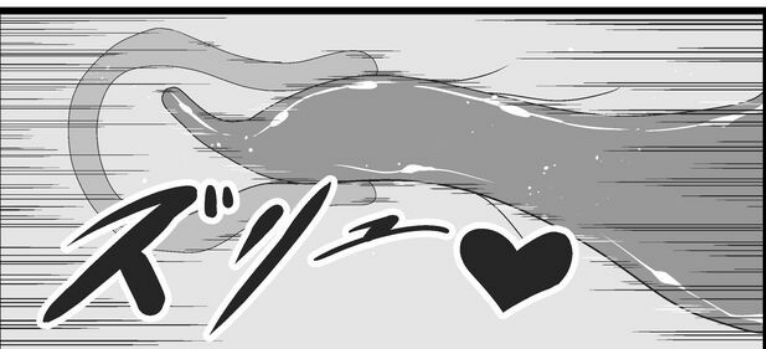


中を掻き分けながら  
奥の奥に…  
やめろ…そこは…



いやっ…もうやめて  
これ以上…入ってこないで!

ダメ…入っちゃ…



ひぐううっ  
♡



いやあああああああ!!



楽しみじゃ...



くそ...くそっ



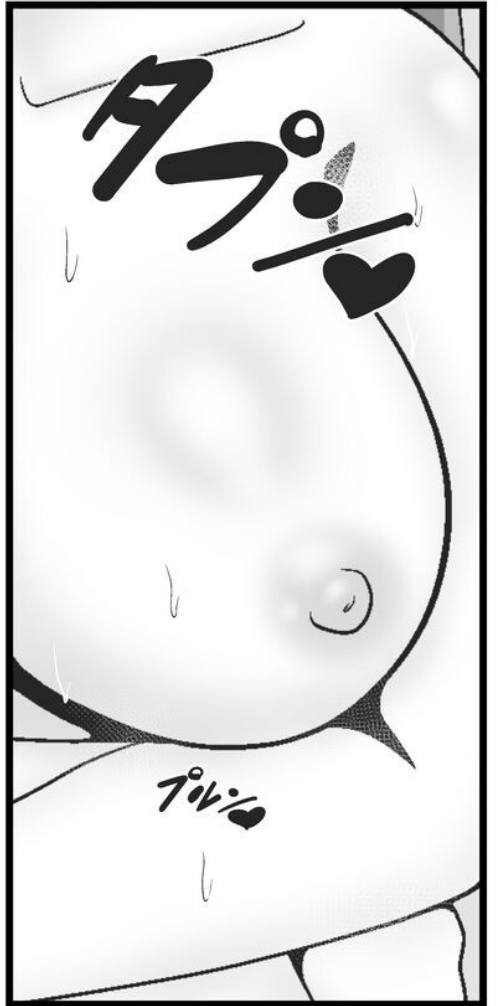
そして...その生物が完全に成長しきった時初めて、受妖の儀が成立するおそらくこの流れで受妖した貴様はすぐさま僕の「性汁」を求めろじやろう

くくく完全に入ったのおその生物は貴様の性敵興奮を糧に成長していく



くくくく

寄生から一日目



おおく育つとる育つとる  
順調そうじゃのおく



正直事態がまだ  
飲み込めない...どうして  
こんな事になった...?



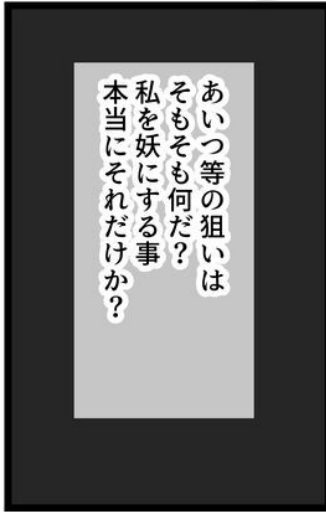
乳が...おっぱいが...大きくなって  
身体がじんじんして...熱い...  
こんな感覚初めてだ...



ここから出たら  
まずお前から八つ裂きにしてやる  
覚悟しておけ!



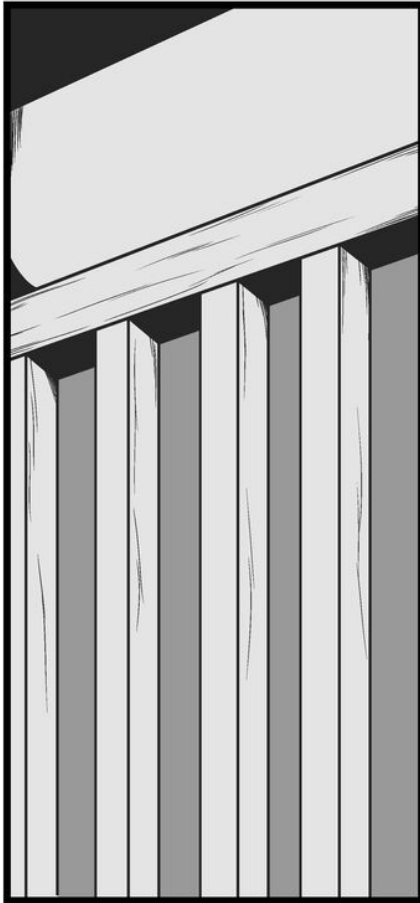
化物め...



あいつ等の狙いは  
そもそも何だ?  
私を妖にする事  
本当にそれだけか?



あの生き物に寄生されてから  
間違いなくおかしくなっている



妊娠してるわけでもないのに  
大きくなったおっぱいから…  
乳が…体液が…トロトロと  
溢れ出してくる

それに…おかし…  
何だこの感情は…私のおその奥が  
ジンジンして…きゅっと熱くなる  
ダメだ…この感覚は…これ以上は  
この感覚に吞まれたら…私は…

ハア♡

ハア♡

ハア♡

ほお…これはまた  
淫靡な甘いメスの匂いが  
漂ってきたではないか

やだ…花蓮ちゃん  
ステキ♡

ぬぎ

ほれ! どうじゃ  
これが欲しいじゃろう?

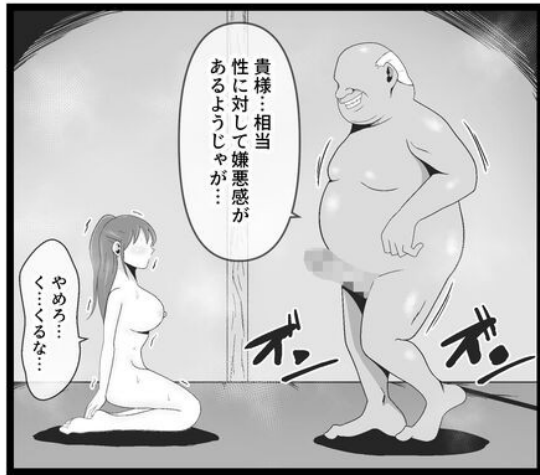
うぐっ…

花蓮よ…

うぐむ…しかしまだ  
見たところ着床率は二割と  
いったところじゃのお



えっ…いや…ちょっと待て  
私…今何を考えてた…  
あれは男のモノだぞ…そんな



貴様…相当性に対して嫌悪感があるようじゃが…

やめろ…く…くるな…



美味しそうなモノは…  
❤️



うっ…あれは…何だあの…



この儂が性交の素晴らしさを  
教えてやる

ふんぐうっつ ♡

セクシ♡

グチュ♡

ビュ♡

もみん♡





ひあああ♥あっん♥  
おっぱいっ♥いっ♥  
吸わないっ♥でっ…んっ♥

気持ち悪い…なのに  
いやらしい声が…勝手に  
出てきちゃう…

あっ♥んあっ♥

もみゅ♥

チュッピ♥



こころも…  
相当潤っておるぞ♥

クチュ♥



花蓮よ素直になれ  
貴様が今感じている感覚こそが本能であり  
それこそが貴様の本当の姿じゃ

んああ…♥私の…  
本当の姿…

本能…? いやだ…  
違う…私は…父上とは  
違う…



ふやあああっ♥



我慢できっ…



ほれほれどうじゃ  
高まってきたじゃろう…  
爪先から頭の先に向かって  
快感が駆け上がってくるじゃろう

あっ♡やっ♡いやっ♡  
やめ…♡あっん♡  
やだんっ♡もう…いやんっ♡

何これ…すごい…あっ♡  
うそ…何かくる…ダメ…  
もう…



いやあああああああ♡

シッ♡

アアア♡



頭が真っ白：  
何にも考えられない！  
どんだん私が：  
私じゃなくなっていく



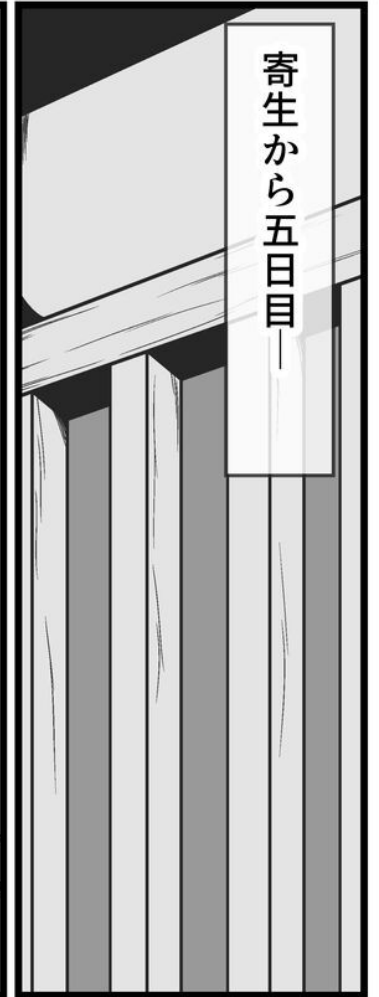
よし  
これで良い...



これが性交—

この後少し寝かせておけば  
丁度いい頃合いになるじやろう

これが快樂—





ふむふむ…着床率も  
八割といったところか  
よし…このまま一気に  
受胎させてしまおうか



ふっ…ふざけるなっ…  
私は…性獣なんかじゃない  
人間…光月花蓮だ



蝶姫や出番だぞ  
お前の性技を  
この半性獣にたっぷり  
叩き込んでやれ

はいお館様



うああああ…  
やっ…やめろお…

さあ気持ち良くなってしまえ花蓮  
自分を解き放って本来の姿を  
さらけ出すのじゃ

花蓮ちゃん  
もう本当はとっくに  
気持ち良いんでしょ  
素直になりなよ



いいじゃない花蓮ちゃん  
とつてもステキ   
その姿なら綾乃ちゃんも  
振り向いてくれるかもよ



えっ…あっ…  
綾乃…



やっぱり



んっふん♥はああ  
この偽おっぱい美味しい  
偽乳首コリコリ♥乳首から出る体液も  
ちよっと人間臭いけど  
甘酸っぱくてこれはこれで良い♥

あんっ♥あっ♥

あっ♥いやああああんっ♥

くくく



や...やめっ.....



いやっ!何これ  
やだやだやだ...  
気持ち悪い!



えっ?うそ...なに?  
おっぱいが...乳首が  
盛り上がってくる...

んあっ♥あっ...あああああ...



あっん♥あっはああああんっ♥

やだ...もうこんなの  
おマンコが...灼ける様に  
熱い...



いやだあー！  
もうやめてー！

キャハハハハ♡  
花運ちゃん何この乳首！  
変態さんなんだから  
ほらほらすっごいよこれ♡  
生き物みたい  
ウネウネ動いていっぱい汁が  
飛び出てくる♡



ぶははは！きたきた  
いよいよ受妖するぞ

いやだ…私…  
本当はこのまま…



やっ！

プチ♡

ほれ！  
まだ受妖前じゃ  
人間の内に一度これも  
味わっておけ



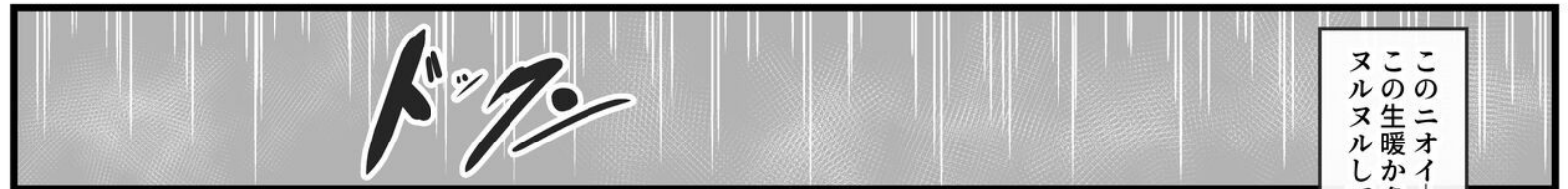


せー

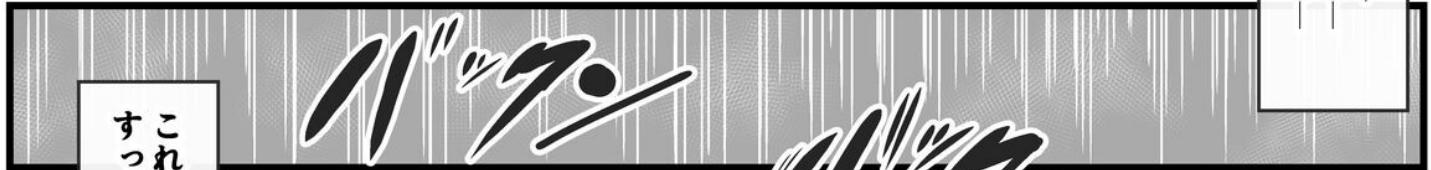


あ

つよ

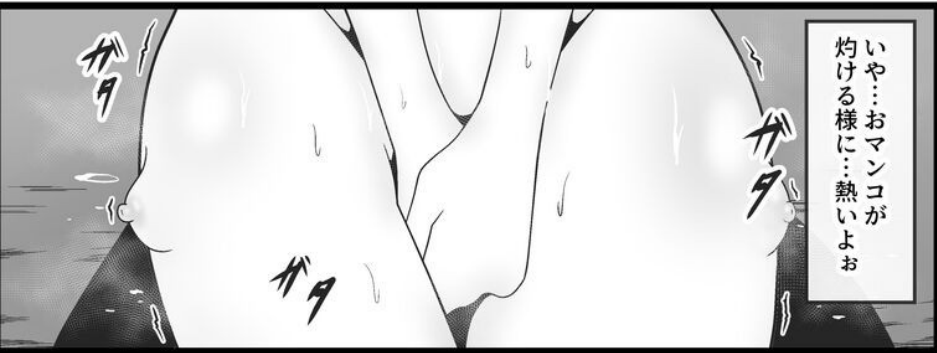


このニオイ  
この生暖かさ  
ヌルヌルして



これ  
すっくら...これ





いや...おマンコが  
灼ける様に...熱いよお



ふぐうっ...あああっ...  
あっあ...

えっ? やだやだ...  
うそっ...おマンコから  
何か生えて...



いっただ! 痛い痛い痛いっ!  
いっただあああいっ!

プニッ♡



後は儂のチンポに  
むしゃぶりついて  
“孵化”するのみよ



何それ？  
花蓮ちゃんったら  
ど変態なんだから



違う…  
私は変態じゃない…

ぶははははは  
さっさと孵化してしまえ花蓮  
さすればその無様なチンポもどきも  
キレイさっぱり無くなるわ



貴様に最後に生えた  
その異物は貴様がまだ  
人間である最後の証…  
人間の霊力を最期に吐き出す  
排泄口となっておる  
孵化して全霊力を吐き出せば  
それは無くなるじゃろう



受妖完了じや

いやあ…何これ…

ハァ♡

ハァ♡

ハァ♡

違う…いやだ  
私は人間だ…



性獣になんて…  
なつてたまるか



私は誇り高き  
光月家の長女…



光月花蓮だあ

!!







だすめ



ダメだ…私じゃ…  
こいつには勝てない…

うっ…



あああああ…

こいつ…たぶん私が  
今まで出会った妖の中で  
最強格の化物

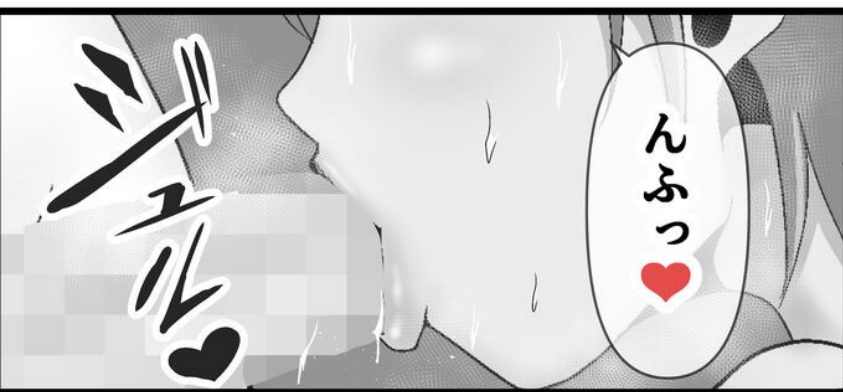


何だこの力は  
ピクリとも動かない

花蓮ちゃん  
めいよ❤️  
おいたが過ぎるわ❤️



ねえ花蓮ちゃん  
あたし達は仲間よ  
早く心を開いて



んふっ



あっ♡んっ♡  
ふうあああ♡  
いやだああ…♡

しゃぶってる…  
私の偽チンポ…  
最後の人間の証



やああん…やめてえ♡  
もう吸わないでえ♡

もう何が何だか分からない…  
気持ち良いのと…切ないのが  
ごっちゃになって…何故だか  
涙が次々溢れてくる



あっ♡いやだあ♡

んふっ♡

つかまえたっ♡

そうじゃぞ花蓮  
儂等はお前の仲間じゃ

よしこのまま  
興奮を最大限まで高めて  
意識を奪う

“孵化”の儀は  
自分の意思で“性汁”を  
飲み込まねば成立せんでのお

いやああっん♡  
ちが…う…んっ♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

最期の仕上げじゃ

ほれほれどうじゃ  
これが気持ち良い事には  
もう気付いておるのじゃろう？

確かに…  
気持ち良い…

ふううっ♡  
きもち…いい♡

私は人間…妖には  
なりたくない…

あたし…今何してるの  
ダメ…もう何が何だか  
わけが分からない…

でも…やだあ  
人間でいたい…

あれ？

え？うそ…



あれ…？  
これは夢か？

いない…さっきまでいた  
性獣達が…



綾乃…お前どうして  
いや…それより  
これは夢か？

何言ってるの  
夢なんかじゃないわ



ほら

温かい…  
確かに目の前にいるのは  
紛れもなく綾乃…



綾乃…

花蓮



お前は…綾乃!?





綾乃が…あたしのを  
触ってる…



むぎゅっ♡

ずっと貴方の気持ちには  
気付いてたわ…  
私も男なんて大嫌い  
大好きなのは貴方一人よ♡

きて♡  
私とめろっばい  
愛し合いましょ♡



お前の…この  
おっ…おっばい…  
舐めてもいいか？

もちろんよ♡



やん♡

あやの♡

んふうんっ…

ずっと舐めたかった  
綾乃のおっばい…すごく甘酸っぱくて  
見た目より硬い…あやの…

フェル♡

フェル♡

硬くて…ヌルヌルして…  
ああ…あやの…



ぶはははははっ！  
無我夢中とは  
この事じゃのお

んふうう...  
んっ...んぐっ...んっ



はあ♥  
一時はどうなるかと  
思ったけど良かったわ

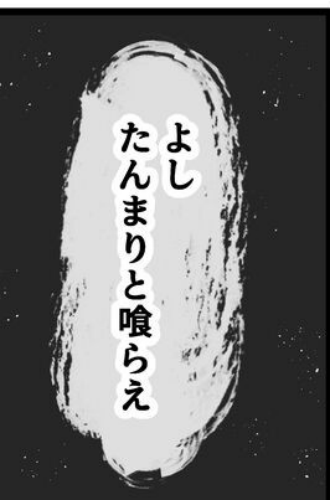
これで花蓮ちゃんも  
立派な性獣になれる♥



これこれ  
吸い過ぎじやて花蓮

もお聞こえては  
おらんか...

んふうう...  
あやのおお...  
あやのおお...



よし  
たんまりと喰らえ









腕にあったニセチクビ…  
痒くてキモチいい…ウニヨウニヨして…



すっごく甘ったるいニオイ  
これって…あたしのニオイ？

ああ…何だか  
全身がムズムズする



スゴイ…いっぱいチンポみたいなの  
はえてきた…あたしは…  
誇りたかき…こうづきけの人間なのに

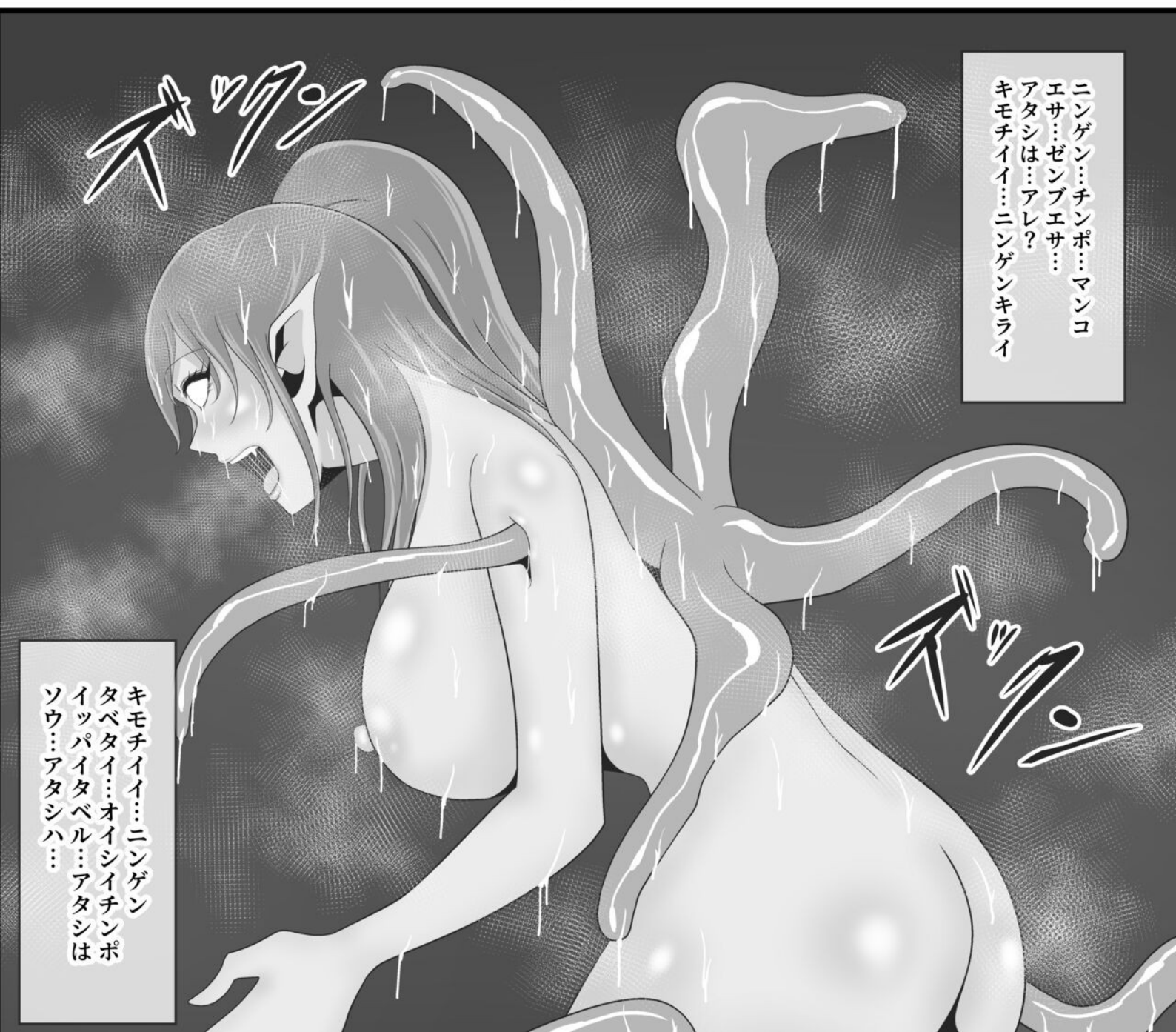
コウヅキ…？つてなに  
コウヅキ…父上…スキ…でも  
アタシをハハウエを裏切った…



あれ？  
 あたしって何だっけ  
 アレ…ニンゲン…てなに  
 キモチ良くナイ…ワ



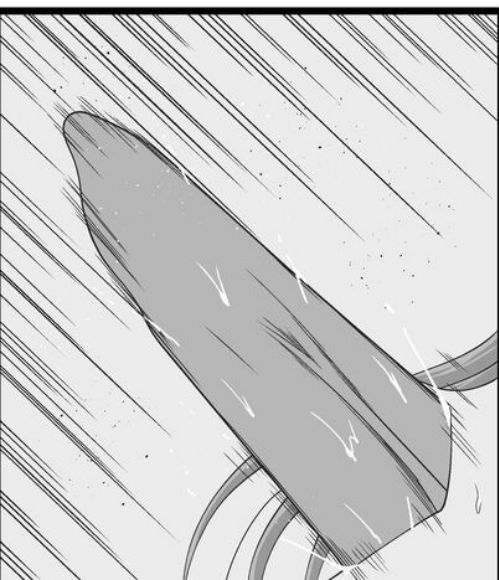
人間…きらい…キライ  
 男…オトコもキライ  
 オトコ…チンポ…



ニンゲン…チンポ…マンコ  
 エサ…ゼンブエサ…  
 アタシは…アレ？  
 キモチイイ…ニンゲンキライ

キモチイイ…ニンゲン  
 タベタイ…オイシイチンポ  
 イッパイタベル…アタシは  
 ソウ…アタシハ…

ホッポッ



ホッポッ

おお何と  
美しい姿よ

僕は感動  
しておるぞ…



性獣  
“光月花蓮”



やん♥すごい…これ  
あたしの手足みたいに  
クネクネ動く



はああ♥すっごい♥  
これが性獣となって見る世界…  
あたしが次々に葬ってきた子達は  
こんな気持ちいい世界を見たのね♥

すっごくお腹が空いた♥  
すぐにでも人間の  
チンポが喰いたい♥  
おマンコがウズウズしちゃう♥



あんっ♥

ドピッ♥



おおお…よいよい  
かまわんぞ花蓮  
それよりお前の毒汁は極上の味じゃ



あっ…ごめんなさい  
お館様…気持ちよくなって  
ついビュって出ちゃって…



ビュッ

ビュッ

ホ：ホント？  
あたしの毒汁ってそんなに美味しい？  
あたし：生まれたばかりだから  
自分の毒汁の味も分からないし：  
気持ちよくなると色んなところから  
汁がピュピュツツって出ちゃって…えと

ああ…とつても美味しいとも！  
濃厚でコクがあつて…それでいて  
とても甘味のある奥深い味じゃ  
自信を持って花蓮お前はもう性獣：  
人間ではない立派な妖じゃ！

くくく…花蓮よ  
お前は何とも分かり易い  
カワイイ娘じゃ  
僕のチンポが欲しいんじゃないか？

だって…だってだよ  
お館様…あたし…

ドキ  
ゴク  
ドネ  
ギン  
ギン  
んあはああ♥お館様のチンポ…  
ギンギンですっごい匂い  
はあ♥ほしい…♥ほしいよお♥

ありがと♥お館様：  
この傷あたしが人間だった時  
無様に小豆姉様に負けた時  
つけちゃった傷でしょ？  
本当にごめんなさい！

ピュ  
おおお…かまわん  
気にするな

あたし…まだ処女なんだよ！  
性獣なのに…まだ男を知らないの…  
だからお館様に捧げたいの！人間の頃から  
大事に守ってきた処女を…お館様の  
太くて男の匂いのするチンポに捧げたい

ズブツって貫いて！  
あたしの処女膜破って…  
あたしに本物の快楽をメスの悦びを教えて！  
あたしを真正銘本物の性獣に変えて！

く

ぱあ

トロ

トロ



ズブツ

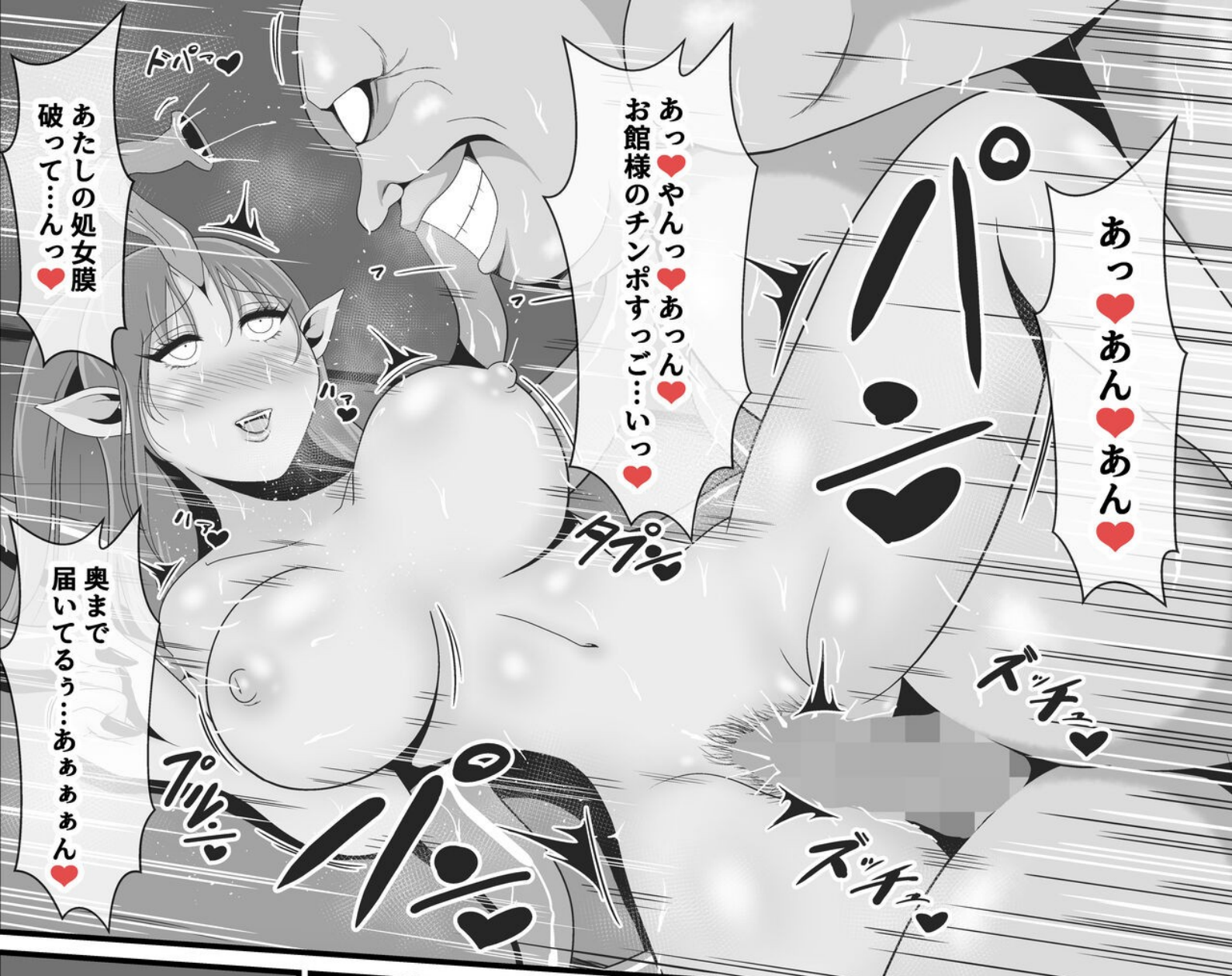
いっ…た…んんあっ



はい  
よろこんで



よからう望みを叶えてやる  
そして…お前の名は今日から  
「八つ手姫」じゃ  
人間の名は今日をもって捨てよ



あっ♡あん♡あん♡

あっ♡やんっ♡あっん♡  
お館様のチンポすっご...いっ♡

あたしの処女膜  
破って...んっ♡

奥まで  
届いてるう...ああああん♡



針姫ちゃんお手柄だわ♡  
素晴らしい演技だったわよ♡



ムスー

もうズルいんだ  
八っ手姫ばっかり



どうじゃ八っ手姫  
痛くはないか？



うん♡ちょっと...  
痛かったけど  
今はすっごく気持ちいい♡

はあお館様大好き♡  
あたしを性獣にしてくれて  
ありがとう♡

あたしこれから  
いっぱい人間のチンポ喰いまくるね  
ずっと傍に置いて可愛がってね♡

ヌヌ♡

ああ勿論じゃとも  
お前はきつとこれから  
もっと素晴らしい性獣に  
なれるぞ

まいつか♡

ニョッ

うん♡良かった良かった  
これでまた一人仲間が  
増えたわ

さて…あれ  
そういえば二人  
忘れてるような…

ありがとう♡  
お館様♡